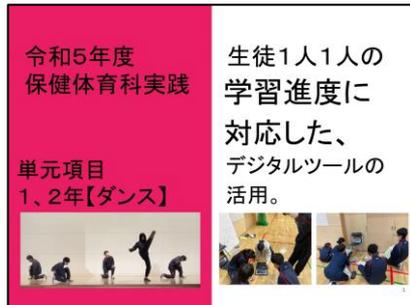


リーディングDXスクール事業【実践事例】

札幌市立中央中学校（札幌市）

【取組内容①】『『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実』



【実践例⑤】第1、2学年 保健体育科 [ダンス]

「生徒1人1人の学習進度に対応した、デジタルツールの活用」

URL : <https://www.16.sapporo-c.ed.jp/chuo-j/attach/get2/3574/0>

【実践例⑥】第3学年 数学科 6章 [円]

「デジタルツールを活用し、生徒が『?』から自らの学びを創出する単元の学習計画」

URL : <https://www.16.sapporo-c.ed.jp/chuo-j/attach/get2/3575/0>

【実践例⑦】第1、2学年 総合的な学習の時間

「自分を成長させるための生成AIとの付き合い方」

URL : <https://www.16.sapporo-c.ed.jp/chuo-j/attach/get2/3571/0>

コーディネータである広島工業大学情報学部教授・宮城教育大学教育学部名誉教授の安藤明伸氏と数回にわたり、オンラインで授業検討を行った。特に、実践例⑤⑥からは、『「個別最適な学び」と「協働的な学び」に有機的に機能する学習ログの可能性』について御示唆いただくことができた。実践例⑦に関しては、今後「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けて必要不可欠になるであろう生成AIを学び、理想的な付き合い方を考える授業についての御示唆をいただくことができた。いずれの実践も発展途上の内容であるため、次年度以降ブラッシュアップしていきたい。また、実践結果をまとめ、令和5年12月26日の冬の学習会で発表した。資料が多いため、上記URLor二次元コードから各実践の詳細を御確認いただきたい。